

平成 23 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	脳内環境：恒常性維持機構とその破綻
領域代表者	高橋 良輔（京都大学・大学院医学研究科・教授）
研究期間	平成 23 年度～平成 27 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、脳を神経細胞と周囲の多彩な非神経細胞（グリア細胞など）からなる多細胞コミュニティーであるという観点でとらえ、異常タンパク質や毒性因子による脳内環境の破綻（病態）と、恒常性維持の二つの側面から脳内環境について解明しようという意欲的な研究提案である。個々の計画研究の計画も緻密であり、本分野における国内のトップクラスの研究者が上手く配置されており、基礎神経科学を含めた連携を有機的に促進できれば、大きな成果が期待できる。</p>